

健康・高齢化社会への対応



三井物産は、グローバルな高齢化の進行に対し、高齢者住宅事業を展開するほか、疾病構造の変化に適應する医療等の基礎的サービスを提供しています。現代の医療の課題解決に向け、カギとなる「場」「人」「モノ」「サービス」「情報」を有機的につなぎ合わせることで、医療のアクセスと質、効率性を高め、「ヘルスケアエコシステム」の構築に取り組んでいます。

このほか、医薬品の開発・製造から販売に至るバリューチェーン全体を視野に入れたソリューションを提供し、医薬品業界に向け途上国を含む医療新興国等で、世の中に必要とされている薬剤の開発・製造を支援、また積極的なライセンス活動を実施しています。

さらに、人口増加、経済成長、高齢化により、医療に対するニーズが大きく伸長することが予想されるアジアでは、病院を「ヘルスケアエコシステム」の中核として位置付けて、事業基盤を強化しています。また高成長が期待される病院周辺事業の構築、デジタルトランスフォーメーションやイノベーション技術活用による予防や疾病管理、遠隔医療や個別医療といった新たな事業を創出し、「アクセス・質・効率性」の面からヘルスケアの発展に貢献することで、人々が健康で、豊かな生活を営める社会につなげていきます。

人口増・高齢化に伴う医療費増大といった課題へのソリューションの提供

活動

SDGs: 3.8, 3.d

近年、人口増・高齢化に伴う医療費増大という世界的な課題に対し、人々の健康を増進し病気になるリスクを低減する予防医療領域が新しいソリューションとして注目されています。当社は、こうした課題の解決に向け、GOQii Inc.への出資・参画を通じ、インドでウェアラブル端末・スマートフォンアプリを活用した未病・予防医療プラットフォーム事業を展開しています。同社のプラットフォームには、健康データオンライン管理ツール、リアルタイムの個人健康コーチングサービス、Eコマースストア、定期健診管理ツール、



GOQiiのプラットフォームイメージ

ユニークな「GOQiiキャッシュ」プログラム(健康管理によるキャッシュ割引還元システム)、健康管理データに応じた保険割引等、さまざまなソリューションが備わっています。今後は、パートナーとの協業やサービスの拡大を促進することで、多くの利用者が健康でより良い生活を送れるようグローバルな展開を目指していきます。

香料を通じ、おいしさを追求しながら減脂を実現

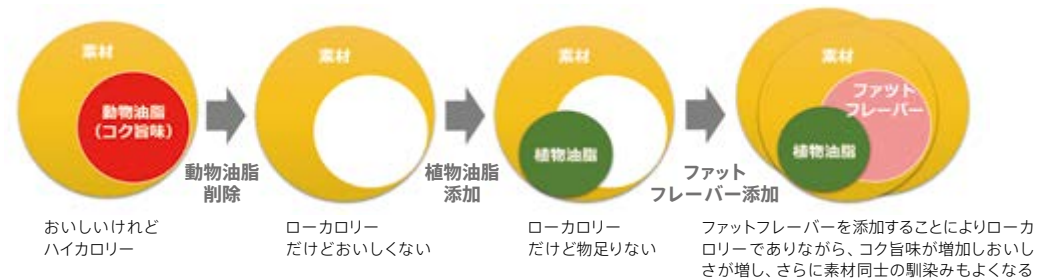
活動

SDGs: 3.d

健康寿命への意識から「食」を切り口とした未病対策に注目が集まっています。摂取カロリーの低減には低脂肪食が、血液中の悪玉コレステロール値改善には摂取する油脂を動物性から植物性に変えることが有効といわれています。しかし、これらの食事はおいしさにかけるといった欠点があります。当社関連会社の曾田香料株式会社では、「おいしさを追求しながら、動物性脂肪の摂取量を減らしたい」、そんな消費者ニーズに応えるフレーバーの開発に取り組んでいます。

曾田香料が開発した「ファットフレーバー」は、香り成分の一つであるラクトン類を主成分とするフレーバーで、低脂肪食(バターを減らした食品、各種ソース、低脂肪飲料等)に添加することで、自然なコク・厚み・油脂感を増強させる効果があります。動物性脂肪から植物性脂肪へ置き換える場合には、ファットフレーバーの添加により、おいしさを損なうことなく30%ほど油脂の使用量を減らすことができます。また、仮想水(Virtual Water)の観点からみても、畜産由来の油脂の低減に貢献する製品として、環境面での価値も高いといえます。

今後も香料を通じたおいしさへのソリューションを提供することで、健康で持続的な社会の実現へ貢献していきます。



高齢者の栄養改善への取り組み

活動

SDGs: 2.2, 3.d

医療・介護業界では、入院患者の入院期間短縮をはじめとした経済負担の軽減とともに、患者と家族のQOL (Quality of Life) 向上にもつながる栄養療法 (不足している栄養素を適量摂ること、自然治癒力を高め、病気の進行防止・予防、症状改善を図る療法) が注目されています。しかしながら、栄養改善が特に望まれる高齢者においては、嚥下機能の低下による誤飲性肺炎等により、適切な栄養摂取が難しいといった課題があります。当社関連会社のニュートリー株式会社は、設立以来半世紀、栄養療法に特化した事業を行い、栄養素補給や嚥下障害対応等に取り組んできました。高齢者の栄養・嚥下サポート食のリーディングカンパニーとして、今後も栄養改善医療・介護用の加工食品/飲料品の提供、開発を通じて社会課題解決に寄与していきます。



ニュートリーの栄養サポート食と嚥下サポート食

医療アクセスの改善、医療需給ギャップの解消への取り組み

活動

SDGs: 3.8, 3.b

ロシアでは、同国最大手医薬品製造販売会社のJSC R-Pharm、中国では、Shenzhen Main Luck Pharmaceuticals Inc.を通じて、求められる高品質な医薬品の製造販売事業を展開することで、途上国における医療アクセスの改善、医療需給ギャップの解消に取り組んでいます。また、各国・地域の医薬品価格制度にのっとり、途上国における正当な価格設定による医療アクセスの改善も図っています。

グローバルな健康課題への対応—感染症対策(マラリア・はしか等)

活動

SDGs: 3.3

ブラジルのJirau水力発電事業の事業会社において、Rondônia州やPorto Velho市との官民パートナーシップの下、地域住民の健康・衛生環境の改善・向上を目的とした社会貢献・環境対策プログラムを2009年より実施しており、とりわけマラリア対策に力を入れています。地域住民の診療・治療機会としては、簡易な治療を受けられる施設や病院の建設、アマゾン川上流過疎

地域への移動型病院(船舶)の提供に取り組んでいます。また地域住民を対象としたヘルスケア教育やセミナーを実施し、マラリア対策の強化等にも努めています。ベクターコントロール(媒介害虫駆除)としては、駆除作業に必要な物資や研究機器の寄付、研究員や殺虫業者等の専門家の派遣、1万個のMILDs(殺虫剤を生地に染み込ませた蚊帳)の配布、およびベクター繁殖モニタリングや殺虫ミスト散布による駆除作業を実施しています。こうした包括的な取り組みの結果、同地域における2010年から2017年までのマラリア症例数の削減率は90%に上り、Rondônia州は2015年にWHO Award "Malaria Champions of the Americas Award"を受賞する等外部からも高い評価を受けています。

また、ガーナ国セントラル州では、当社の寄付金によって2017年に開所した看護師寮で、当該地域で特に深刻なマラリア、はしか、夜間の妊産婦の緊急対応等グローバルかつ深刻な健康課題への対応が一層強化されました。

高齢者や障がいのある方に配慮したビル設計・シニア住宅事業

活動

SDGs: 11.3, 11.7

当社米国子会社のMBK Senior Living LLCによるシニア住宅事業では、高齢者・障がいのある方にも安心して利用していただけるような施設を目指し、高齢化社会における生活基盤の充実に努めています。また、当社子会社の三井物産都市開発株式会社が参画し開発を進めている新橋田村町地区市街地再開発事業では、計画段階から高齢者や障がいのある方に配慮した機能を付加しています。同様に大手町で推進中の開発事業「(仮称)OH-1計画」でも、多目的トイレやエレベーターにおいて高齢者や障がいのある方に配慮した機能を付加する等、多様な方のビル利用を想定し設計・建設しています。



MBK Senior Livingのサービス付き高齢者向け住宅

Our Stories: 豊かな暮らしをつくる

🔍 P.23 ヘルスケアエコシステムの構築を通じ、さまざまな医療問題の解決に貢献

SDGs: 3.4, 3.8

